

平成29年12月18日

平成29年第3回神奈川県議会定例会

厚生常任委員会報告資料

保健福祉局

目 次

	ページ
I 神奈川県立がんセンター放射線治療の診療体制について.....	1

I 神奈川県立がんセンター放射線治療の診療体制について

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療、化学療法など集学的治療や重粒子線治療を県民に対して提供している。

このたび、医師不足による放射線治療及び重粒子線治療の一部制限が見込まれているため、状況を報告する。

1 医師の状況について

県立がんセンターの放射線科は、現在、医師6名で診療にあたっているが、平成30年1月末までにこのうち4名から退職の意向が示されている。

県立病院機構では、慰留に努めるとともに、後任医師の派遣を、大学病院等の関係機関に対し、現在要請している。

2 診療体制への影響について

現時点で、平成30年2月以降の新たな医師の確保の目途は立っていない。このため、今後、放射線治療及び重粒子線治療について、診療の縮小、延期などの診療制限や、一時的な中断をすることが考えられる。

現在、受診中、予約済みの患者については、治療継続に向けて最大限の努力をしている。

また、当面の間、治療の受け入れに制約が生じることを、県立がんセンターから、紹介元の診療機関あてに連絡した。

3 今後の対応について

県立病院機構は、引き続き医師確保に全力で取り組んでいく。県としても、患者をはじめ県民の皆様には不安を与えないよう、病院機構の取組みについて支援を行う。

<参考>

神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター放射線治療の状況

○放射線治療実績

・放射線治療装置（リニアック）等による治療実績

区分	26年度	27年度	28年度	29年度（目標）
新規患者数	992人	1,109人	1,104人	1,200人
延患者数	25,466人	28,265人	28,927人	30,000人

○重粒子線治療実績

平成27年12月から稼動、

治療対象部位（前立腺、頭頸部、骨軟部腫瘍、肝臓、肺、膵臓）

区分	27年度	28年度	29年度（目標）
治療件数	24人	149人	340人

